

全4回シリーズ 鴻巣御殿御参行列開催記念

鴻巣ゆかりの歴史人

『8傑1姫』

紀行

= 第1回 =

～石田三成・徳川家康の巻～

平成27年11月14日、「鴻巣市合併10周年記念 鴻巣御殿御参行列」を開催し、徳川家康が鷹狩りのため鴻巣を訪れた様子を再現します。中山道が歩行者天国となり、徳川家康をはじめとした鴻巣にゆかりのある歴史人が9名登場し、歴史絵巻に包まれます。

このシリーズでは、歴史人9名(徳川家康、笠原かきはらの直使主あたい おみ、源経基みなもとのかねもと、渡辺綱わたなべのつな、伊奈忠次いな ただつぐ、牧野康成まきの やすしげ、石田三成いしだみつなり、真田小松姫さなだ こまつひめ、真田信重さなだのぶしげ)と鴻巣との「ご縁」に着目し、「8傑1姫」紀行として、ゆかりの地を紹介します。行列を一層楽しむため、歴史人を知り、ゆかりの地を巡ってみてはいかがでしょうか。



歴史人①

石田 三成

1590年、豊臣秀吉の家臣であった石田三成は、現在の行田市にある忍城を攻略するために「水攻め」を行いました。全長約28kmの堤防を建設し、河川の水を止め、忍城を水没させようという作戦です。映画「のぼうの城」は、この歴史を題材にしたものです。堤防は鴻巣市から行田市にかけて250m程残っており、壁の無いミニ資料館という趣で、堤防の上を歩いたり、断面を見たりすることができます。忍城は最後まで持ちこたえ、作戦自体は失敗しますが、豊臣秀吉は天下を統一することができました。



◆史跡① 石田堤史跡公園

(所在地=袋326-1、交通=コミュニティバス「フラワー号」吹上北コース「袋」バス下車)



歴史人②

徳川 家康

1600年、天下分け目の戦いである「関ヶ原の合戦」で、石田三成を打ち破ったのが徳川家康です。徳川家康は関ヶ原の合戦に前後して鴻巣を訪れています。1593年、鷹狩りの宿泊施設として鴻巣御殿が建てられ、さらに1602年には、現在の北本市にあった宿場が移転整備されて、鴻巣宿の基礎が築かれました。徳川家康は鴻巣の市街地発展の大恩人です。鴻巣御殿は現存していませんが、本町4丁目にある「御成町神社」がその跡地です。徳川家康を祀っていたことから「東照宮」とも呼ばれており、「日本一小さい東照宮」とも言われています。明治の初めに「魂」を鴻神社に合祀しています。また、本町8丁目にある勝願寺は、徳川家康が2世住職不残上人ふざん しょうにんの教えに感銘を受けたことにより、「三つ葉葵」の使用許可を得ることができました。徳川家康が利用した「御成りの間」などの建物は、明治時代の旋風で全壊してしまいましたが、家康公のご朱印状などは現在も残されています。



◆史跡②

鴻巣御殿・御成町神社
(所在地=本町4丁目、交通=鴻巣駅東口から徒歩約5分)

◆史跡③ 勝願寺

(所在地=本町8丁目、交通=鴻巣駅東口から徒歩約10分)

毎年11月13日～15日は、関東三大十夜として名高い「お十夜」が行われます。徳川家康をはじめ、伊奈忠次、牧野康成、真田小松姫、真田信重など、多くの歴史人のゆかりの地です。



次回は… 伊奈忠次、牧野康成を紹介予定

文責：鴻巣御殿御参行列実行委員会 (事務局 = 観光戦略課内・内線2401)

